



2019 年 11 月 吉日

茨城県内医療および福祉関係者各位

筑波大学附属病院リハビリテーション部
つくば糖尿病予防研究会
代表 鈴木 康裕（認定理学療法士）
（公印省略）

筑波大学附属病院 リハビリテーション部 糖尿病予防研究会

（つくば糖尿病予防セラピスト研究会）発足のご挨拶

謹啓 ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国では糖尿病を強く疑われる成人が約 1200 万人、糖尿病予備群は 2000 万人に上ると推計され、大きな問題として考えられています。糖尿病が進行すると糖尿病性三大合併症や心疾患、認知症、ロコモティブシンドロームなどのリスクが増大し、さらなる医療費の圧迫を来す可能性が高くなることが予想されます。このような現状で糖尿病の発症予防や重症化予防は喫緊の課題です。

従来の糖尿病患者に対するリハビリテーションは、運動療法を中心とした介入が主ですが、今後は栄養学的観点や心理社会的側面を踏まえた包括的アプローチも重要になります。また糖尿病が主疾患でなくとも他疾患に糖尿病を合併する場合も少なくなく、そのため医療および福祉従事者の基礎知識として、糖尿病の病態理解や知識が不可欠と考えております。さらに、予防医学として介入していくことがリハビリテーションとして重要な位置付けになろうかと思えます。

しかしながら糖尿病に対して包括的・予防的にリハビリテーションが介入することが少ない現状があります。このような状況を踏まえ、筑波大学附属病院リハビリテーション部として、2014 年より、この課題に立ち向かうべく有志での研究会を立ち上げ、研究・調査および教育（臨床指導、日本糖尿病療養指導士の養成を含む）のための勉強会などを企画していくことにしました。当研究会の活動内容に賛同していただける方がいれば、院内院外問いません、是非我々と共に研鑽し、活動してみませんか。

1 ヶ月に 1 回、定例勉強会を企画しております。入会・参加希望の方はご連絡頂ければ幸いです。詳しくは、Facebook（URL：<https://www.facebook.com/2014TSUKUBA.DM>）をご覧ください
入会金・年会費：無料

連絡先：筑波大学附属病院リハビリテーション部 理学療法士 鈴木康裕（代表兼事務局長）
029-853-1131（病院外からの直通：90590） yasuzuki@times.hosp.tsukuba.ac.jp



グルッシー
（筑波大学附属病院糖尿病
運動療法イメージキャラクター）

2019 年 11 月 1 日

研究会役員

代表兼事務局長	鈴木 康裕	筑波大学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士
広報	野崎 礼	梅田病院 リハビリテーション科 理学療法士
会計	椿 拓海	筑波大学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士
特別顧問	出口 憲市	徳島県鳴門病院 リハビリテーション部 理学療法士
特別顧問	河辺 信秀	城西国際大学 福祉総合学部 理学療法学科 理学療法士
特別顧問	石黒 友康	東都医療大学 理学療法学科 理学療法士
顧問	石川 公久	筑波大学附属病院 リハビリテーション部 理学療法士
顧問	上野 友之	筑波大学附属病院 医学医療系リハビリテーション科 リハビリテーション部 副部長 医師
顧問	羽田 康司	筑波大学附属病院 医学医療系リハビリテーション科 リハビリテーション部 部長 医師



筑波大学附属病院
University of Tsukuba Hospital